

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
25年 第7号	25.10.9	<p>高校卒業まで医療費無料化に関する請願</p> <p>【請願趣旨】 創立50年の新日本婦人の会は、若いお母さんたちの切実な願い「子どもの医療費無料化」の運動に長年とりくんできた。現在、「高校卒業」まで医療費を無料にする自治体が全国でふえている。</p> <p>県内においても、少子高齢化がすすむなか2010年10月から県の医療費助成対象が「小学3年」まで引き上がったことが後押しとなって大きく前進している。1月現在で15市町が「小学卒業」まで、「中学卒業」まで無料としている自治体は21市町村（5市町は入院のみ）にひろがり、4月からさらに3市町で実施される。ここ数年間でひろがった背景には、深刻なデフレ不況、雇用不安などで所得が減り続ける子育て世帯の強い要望と、少子高齢化対策として「この町で安心して子育てし、ずっと住みつづけてもらいたい」「近隣と同じ水準に」と自治体の動きが一体となって、いっきにひろがったと考える。</p> <p>しかし財政力の弱い市町村はなかなかすすまない。子どものいのちは、どこに住んでいても同じである。財政事情によって生じる格差をなくすには県のさらなる助成拡大があってこそである。内閣府調査にもあるように1997年からの14年間に働く人の所得が88%に減少、民間労働者の賃金は年平均58万円も減り（国税庁調査）、中学生、高校生の親世帯の収入も大幅に減っている。医療分野における子どものセーフティーネットをさらに充実させるため、全国8位の県の財政力をもって「高校卒業」までの医療費を無料にすることをとめる。</p> <p>以上の趣旨により、次のことを要請する。</p> <p>【請願項目】</p>	新日本婦人の会茨城県本部 河野 恭子 外1,742名	大 内 久美子 鈴 木 聡	保健福祉	不採択

		1 高校卒業までの医療費を無料にすること。				
--	--	-----------------------	--	--	--	--